



平成29年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No.152 平成29年12月22日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

感じて、動く

修学旅行団長 松井 裕次

結団式で、「五感を磨こう」と話をした。私の「五感」で修学旅行を振り返る。

1日目 ハワイアンズ

いわき市にあるホテルハワイアンズは、市民の心と経済を支える企業である。旧炭鉱町で大切にされている「一山一家」の精神で震災を乗り越えてきた。夕食ではあんこう鍋を堪能した。温泉の熱気を感じながら、気分は南太平洋にいる。フラダンスショーやファイヤーマンショーのレベルの高さに驚いた。生徒たちも飛び入りでステージを盛り上げてくれた。

2日目 津波は黒い壁

いわき総合高校の瀬谷貢一先生の講話が心に残る。壮絶な震災体験、被災者の切実な思い、風評被害、復興への努力、F1（福島原発廃炉作業）の最前線、防災に必要なこと、支援のあり方、等を学ぶことができた。「津波は波ではない、黒い壁だ」と話された。すさまじい津波の破壊力を想像させる。

薄磯地区では、荒涼とした景色、冷たい風を感じながら慰霊碑に献鶴、そして黙祷を捧げた。生徒の胸にはどんな思いが去来したのだろうか。感受性豊かな生徒たちは涙を浮かべていた。復興を願い気が遠くなるような工事が日々続けられている。すべてを奪われた^{ひとけ}人気のない街は新しい分譲地へと変化し、海水浴場だった浜には巨大な堤防が築かれていた。大海原の先には何事もなかったように巨大なタンカーが浮かんでいた。

交流会では、両校邦楽部のコラボが披露され、両県ご当地カルタで盛り上がった。最初はお互いに緊張した面持ちも見られたが、次第にうちとけて、「福島を忘れない、福島を知るための架け橋になる」という南高生のメッセージを伝えることができた。心豊かな両校の生徒たちが、思いやりを広げていく。

夜は、東京柏葉会の先輩方にも多忙な中に浦安のホテルへ駆けつけていただいた。今年は東大生の先輩が質問を受けながら話をしてくれた。

3日目 TOKYO

都内コース別研修では、中央省庁、証券市場、国立美術館、航空・宇宙技術、先進技術、特にAI機器の発展を目の当たりにした。一流のもの、本物に触れる感覚が大切だ。浅草寺では東京の顔と言われる大提灯をカメラにおさめ、お台場では東京湾の海風を感じた。ダイバーシティのガンダムを見に行った人もいる。TDLは夢の世界、生徒の天真爛漫な表情を見ることができた。入園するやいなや、みんなの頭にミッキーの大きな耳が生えていた。

最終日 スカイツリー

ホテルの朝、コーヒーとカレーの臭い…。東京スカイツリーに朝一番からスムーズに入れたのは、修学旅行ならではの。展望台からは富士山が見えた。何処までも続く大都会の先に雲海を伴いながら威容を誇っている。思わず「日本一！」と叫びたくなった。記念写真は高校生らしく「log₃9は?」の掛け声に、「2」っこり笑顔。

感動は、そのまま言葉の力になる

事前準備が奏功し、71回生の信頼関係を深める内容の濃い修学旅行となった。百聞は一見に如かず。五感を磨き体感したことが、その人の言葉の厚みや深みをつくり出し出ていく。言葉の力とは、思いを伝える力である。伝えたい思いを持つことが大切だ。一人ひとりの豊かな感受性が考えや行動を変化させ、大きな成長へとつながっていく。生徒の感想文が楽しみだ。

○「後期生徒総会」

11月1日（水）、後期生徒総会が行われました。今回の総会では、第1号議案（後期生徒会活動方針案）、第2号議案（各クラスから提出された学校生活における意見・要望）に対する審議がおこなわれ、2つの議案は承認されました。

今回の総会を受けて大きく変わることは、平成30年度から創立記念日が休校日になることです。また、土日の部活動に関して、練習だけの場合の登下校時の服装についても、今後、生徒へアンケートを実施し最終的な結論が年度内に出される予定です。その他にも生徒から多くの意見・要望が出され、学校生活・学校施設について生徒が建設的な考えを持っていることがわかりました。

最後に、「来年度の70周年へ向けて、全生徒の意識が再確認できた。また、今回の生徒総会が南高の進化のブースターとなった。」と生徒会常任委員長の言葉にもありましたが、今後も生徒自身が中心となり、更なる南高の躍進を期待したいと思います。



○「第2回校内美化コンクール」の実施

南高では、美化意識の向上と勉強しやすい環境をつくることを目的とし、毎年2回、クラス対抗で「美化コンクール」を行います。今年度2回目は、11月6日（月）～10日（金）の5日間で実施し、「教室」と「廊下ロッカー」および、「下足室」を評価の対象に設定しました。（下足室は今回が初めての試み）

放送部に依頼し、昼休みの時間に前日までの途中経過を放送してもらうなど、生活美化委員長や各クラスの美化委員が中心となって、積極的な取り組みが見られた5日間でした。今後も日頃の清掃活動を真剣に取り組み、学習に取り組みやすい環境が続く佐世保南高校であることを強く望みます。

以下は今回の学年別成績です。

【1学年の部（結果）】

○優勝 1年5組
2位 1年6組

【2学年の部（結果）】

○優勝 2年5組
2位 2年3組／6組

【3学年の部（結果）】

○優勝 3年4組
2位 3年5組



○平成30年度大学入試センター試験

平成30年度大学入試センター試験は、1月13日（土）、14日（日）の2日間の日程で行われます。大学入試センターの発表によると、確定志願者数は582,669人と、前年度より6,702人の増加となるようです。全国のセンター試験参加大学・短期大学数は848大学あり、大学進学においてセンター試験が重要な意味を持つ試験であることは間違いありません。本校からは長崎国際大学を会場に218人がセンター試験に挑みます。大学入試の可否は、各大学の個別試験と併せて決められることになるため、センター試験は決してゴールではありませんが、これまでの努力の成果をいかに発揮し、ベストな結果が出せるよう指導していきたいと思っております。

< 日程 >

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間
平成30年 1月13日（土）	地理歴史 公 民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
1月14日（日）	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30
	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	11:20～12:20
	数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」	13:40～14:40
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2科目受験 15:30～17:40 1科目受験 16:40～17:40

○1学年 九州大学・西南大学訪問

12月6日（水）、1学年は九州大学・西南学院大学を訪問しました。今回は理系志望の生徒は九州大学、文系志望の生徒は西南学院大学を訪問するという初の試みでした。九州大学では大学教授による物理の講義を受け、専門性の高い授業に驚きながらも目を輝かせながら聴き入っていました。西南学院大学では、在学生の方々から大学の特色や大学生活について紹介して頂きました。大学生のプレゼンテーションや大学生活を満喫している姿を見て、多くの生徒が憧れを抱き、学びへのモチベーションを一層高めているように感じられました。両大学において、施設見学をさせていただき、生徒達がプレゼンを練習するための部屋や、外国語を習得するための外国語学習専門のパソコン教室などの充実した学習環境を目にすることができました。その後、太宰府にある九州国立博物館を訪ねました。日本の歴史について実物を見ることで、生徒達の見識を深める良い機会になったのではないかと思います。博物館に行くのが初めてだという生徒も少なく、座学とはまた違う形の学びを楽しんでいました。多くの方のご支援のもと、生徒にとって大学を知り、文化に触れる充実した一日とすることができました。



○2 学年 修学旅行

12月5日(火)から12月8日(金)の3泊4日で福島・東京への修学旅行に行ってきました。福島ではスパリゾートハワイアンズでの復興学習(講話)とフラダンスショー、翌日は、いわき総合高校との交流会を行ってきました。福島県と長崎県のいいところをモチーフにしたカルタを作成し、お互いの県の特徴を紹介し、見識を広めることができました。東京では各クラス・コースに分かれての研修とディズニーランド、スカイツリーを訪問し、日本の中心で最先端科学技術や経済・政治・美術の現状、ハイクオリティのサービスを体感し、今後の進路選択にも影響を与える経験ができたと思います。また、4日間を通して体調不良を訴える生徒もほとんどなく、学年目標である「おもいやりの心」を深めることができる集団生活を送ることができました。保護者の皆様に置かれましては、出発当日の送迎などご協力いただきありがとうございました。この経験を活かし、更なる生徒の成長を見守っていただきたいと思います。



○邦楽部 しおかぜ総文祭で6年連続金賞!

11月12日に諫早文化会館で開催された長崎県総合文化祭(しおかぜ祭)日本音楽部門発表大会に本校邦楽部の2年生6名が出場し、金賞を受賞しました。

今年は出場団体のレベルがいっそう高く、3校が金賞受賞という前代未聞の接戦となりましたが、佐南邦楽部の高い技術力が認められ、来年の全国大会への切符を手にすることができました。8月に3年生が引退し、2年生だけで迎えた初めての大きな舞台。加えて6回連続全国大会出場というプレッシャーの中で、堂々たる演奏を披露してくれました。来年8月長野で開催される全国総合文化祭でもよい結果が残せるよう、部員一丸となってがんばります!!引き続き応援を宜しくお願いします。



<部活動>

- ・女子バスケットボール部
佐世保地区高等学校新人体育大会 **優勝**
- ・野球部
平成29年度第19回佐世保市内国公立高校野球大会 **優勝**

